

【第 17 回 文化と地域デザイン講座】

**「ニュータウンを舞台にした在宅医療の現場／“歌う看護師”・マンガで考える在宅医療の選択」
ー「生」の質を高め、人生の幕引きの場となる、病床を備えた新しいクリニックの開業ー**

◆ 2025 年 6 月 28 日(土曜) 午後 1 時から午後 3 時すぎまで (終了後に交流会！)

松本茂章 (文化政策学者／文化と地域デザイン研究所代表)

【開催の趣旨】

「本のある工場」から研究書が誕生しました！ 新川達郎・松本茂章編著『文化×地域×デザインが社会を変える』(文眞堂)。2025 年 3 月 18 日に発売が開始されました。これを記念する講座の第 1 弾として、「在宅医療の現場」や「自宅で逝く」ことを改めて見つめ直したいと願います。

ゲストにお迎えするのは、2024 年 3 月に開院した、兵庫県川西市の「兵庫ライフケアクリニック」で活動されている医師・保健師の異色コンビ 2 人！ 高齢化するニュータウンを舞台にした物語をお聞きする絶好の機会です。奮ってご参加くださいませ。

次のようなことに関心のある方々にお勧め。

- ・「生」の質を高め、「人生の幕引きの場」となる病床を備えた新たなクリニックの様子に関心がある。
- ・現役の訪問看護師が、シンガーソングライターとして音楽活動を展開。オリジナル曲「お迎えの朝」「ありがとう介護」を歌い、高齢者に癒しの時間を届けている。医療と文化芸術の関係を知りたい。

⇒当日、「ナースシンガー」の塩崎大輔さんが、ギター持参で参加され、歌ってくださいます！

- ・ゲストが作成した冊子「マンガで考える在宅医療の現場」が新聞で紹介されると、全国の約 2000 人から冊子を求める電話やメールが殺到した。＜胃ろう＞などを描いた冊子の内容を知りたい。

会場は元印刷工場。まったく堅苦しくないなので、気軽にお越しくださいませ。

【日時と会場】

2025 年 6 月 28 日 (木曜) 午後 1 時－午後 3 時すぎまで。参加費無料。

「本のある工場」にて (大阪市此花区西九条 5-3-10) (会場は 2 階なので、階段を上ります)

(JR 大阪環状線・阪神なんば線 西九条駅 から徒歩 7-8 分)

(終了後、簡素な食べ物・飲み物を提供する交流会を予定しています) 差し入れ 大歓迎！

【ゲスト】

◆**波江野茂彦 (はえの・しげひこ)さん (兵庫ライフケアクリニック院長／訪問医療医)**

1962 年生まれ。神経難病を専門とする内科医で、兵庫県に 7 人しかいない在宅医療専門医である。訪問診療という診療提供体制がなかったころから、在宅医療の可能性を感じていた。1 日でも長く延命することを使命とする大学病院では、患者の生きがいや人生で大切にしていることよりも治療が優先される。対して「1 日寿命が縮まったとしても、家族と笑い合えるカラフルな時間を過ごせるのではないか。大学病院ではできない医療が在宅にはある」と語っている。

◆**石井敦子 (いしい・あつこ)さん (兵庫ライフケアクリニック副院長／大阪青山大学看護学部教授)**

特定非営利法人サイエンス&アート理事長。和歌山市出身。神戸大学卒業後、大阪府立成人病センター、東京都南多摩保健所、東京都福祉保健局保健政策部を経て和歌山県立医科大学助教・講師。「拒否されても必要ならば介入する保健師魂」の持ち主。博士 (政策科学)。専門は保健医療政策。著書に

『健康政策としての市場構築 ―自己選択に基づく“健康づくり”への新たな支援のかたち』ほか。

◆川西市とは……

人口約 15 万人。世帯数約 7 万人。阪急宝塚線および能勢電鉄が走っていて、大阪・神戸に通勤・通学する典型的なベッドタウン。高度成長期は人口が急増したが、その後、高齢化が進んでいる。

ニュータウンが直面する高齢化の状況、このまちで暮らす高齢者の物語は、首都圏や東海圏の方々にも、共通している。「死」をめぐる、深淵で普遍的なテーマを、会場みなさんと一緒に考えたい。

◆企画・司会：松本茂章（文化政策学者／文化と地域デザイン研究所代表／静岡文化芸術大学元教授）

松本茂章編著『文化で地域をデザインする』（2020）、同『はじまりのアートマネジメント』等でホスピタルアートを取り上げてきたが、在宅医療と文化芸術の関係については詳しく知らなかった。同志社大学大学院総合政策科学研究科の後輩である石井さんから現場の話をうかがい、最近刊『文化×地域×デザインが社会を元気にする』の好題材と受け止めて執筆を依頼して、本書の事例編トップにて掲載できた。「自宅で逝く」ことがリアルになってきた年代なので、当日のお話が実に楽しみである。

【主催と申し込み】（事前申し込み制）

文化と地域デザイン研究所の主催。定員 20 人。

次の申し込み受付フォームから先着順にて受け付けます。<https://forms.gle/xL75GyxVMhFFmaW49>

あるいは、文化と地域デザイン研究所の HP をクリック。6 月 28 日の催しもの欄から申し込む。

※定員制なので満席が予想されます。キャンセルされる際は、必ずご連絡をお願いいたします。 …

【本のある工場／文化と地域デザイン講座の概要】

1969（昭和 44）年に建てられた元印刷工場。築 56 年。亡き父から「形見」として相続した松本が、静岡文化芸術大学教授を定年退職して 16 年ぶりに関西に戻ったことを機に、リノベーションを行い、22 年 5 月、アカデミックスペースとして開設した。通常の講演会ではなく、ゲストと参加者が和気あいあいの雰囲気で見聞交換する「楽しめるサロン」づくり、「文化的コモンズ」の形成を目指している。同講座は「本のある工場」を拠点とする非営利な学術団体「文化と地域デザイン研究所」が主催する。

◆本拠地「本のある工場」の外観（23 年撮影）／文化と地域デザイン学会の様子（23 年 5 月 18 日）

